

■科目の基本情報

・科目番号	01EG117・118
・授業科目名	感性認知脳科学実験実習 I・II
・授業形態	5(講義と実習・実験)
・標準履修年次	1年次
・開設学期	春学期
・曜時限等	各教員に確認
・教室	各教員に確認
・単位数	各2

■担当教員等

・担当教員名	感性認知脳科学専攻前期全教員
・ティーチングフェロー(TF)	N/A
・ティーチングアシスタント(TA)	N/A
・オフィスアワー等(連絡先含む)	各教員に確認

■受講によって得られる知識・能力等

・教育目標との関連

人間の感性や心と脳機能とを関連づけようとする基礎研究は極めて学際性の高い研究領域である。自身の専門領域「以外」の知識や実験・解析手法を習得することは必要不可欠であり、本専攻の教育目標と合致する。

・授業の到達目標 (Aim of Course)

自身の専門領域「以外」の知識や実験・解析手法を習得する。

■授業内容等

・授業概要 (Course Description)

自身が所属する研究室以外の研究室に1週間所属し、講義と実験・実習を通して、自身の専門領域とは異なる領域の専門的な研究内容と実験手法について学ぶ。

・キーワード

感性情報学、感性デザイン学、感性人間工学、比較認知科学、行動神経科学、精神機能障害学、システム脳科学、神経分子機能学、脳型情報処理機構学

・授業計画 (Time Table)

各教員に確認。

・履修条件 (Prerequisite)

選択した研究室の研究内容に興味を持ち、講義・実験・実習に意欲的に取り組めること。

■成績評価方法

・評価方法

出席態度と講義・実験・実習の中で行う質疑応答。

・割合

出席態度と講義・実験・実習の中で行う質疑応答を総合的に評価する。

・評価基準

講義・実験・実習の内容を理解し、取得したデータの意味を論理的に説明できること。

■受講するにあたって

・教材・参考文献、配布資料等(Reading Materials)

各教員が配布する資料。

・授業外における学習方法

選択した研究室の研究内容を論文等で学んでおくこと。

・受講生に望むこと(Recommended Background)

選択した研究室の教員や学生と積極的にdiscussionすること。

・欠席の場合の措置について

各教員に確認。

・備考